

近畿大学病院 産婦人科で卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 産婦人科（以下、当科）では、「腹腔鏡下子宮内膜症性嚢胞摘出術の術後再発率に関する検討」という臨床研究を行っています。そのため、当科で卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、腹腔鏡下子宮内膜症性嚢胞摘出術の術後再発率について調べることを主な目的としています。

子宮内膜症性嚢胞に対して 2008 年 1 月から 2020 年 12 月までの間に、腹腔鏡下子宮内膜症性嚢胞摘出術が行われ、術後 6 ヶ月以上近畿大学病院で経過観察を行った患者様の診療情報を利用します。

利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供したり、別の研究で利用することはありません。

② 利用する情報の項目

カルテ情報（年齢、分娩歴、Body mass index (BMI)、腫瘍径、両側発生の有無、術前 CA125 値、r-ASRM スコア、術後妊娠の有無、術前薬物療法の有無、術後薬物療法の有無、再発の有無）

*CA125・・・身体にがんができると、体内に特殊なたんぱく質を作り出します。このうち、体液中に存在し測定可能なものを腫瘍マーカーといいます。CA125 は子宮や卵巣の疾患を調べる腫瘍マーカーのひとつになります。

*R-ASRM 分類・・・子宮内膜症の病変の大きさと癒着の範囲によって、進行度を分類するためのスケールです。

③ 利用開始する予定日

近畿大学医学部部長の研究実施許可日（2024 年 6 月 5 日）

④ 利用する者の範囲

本研究に参加する当科の医師（小谷泰史・新垣紀子）

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、申し出のタイミング（すでに研究結果の解析段階に入っている、解析がすでに終了している、など）によっては不可能な場合があることをご了解ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

【お問い合わせ先】

近畿大学病院 産婦人科 小谷泰史

電話：072-366-0221（内線：3215 ） FAX：072-368-3745

以上